

## 探究Ⅱ 中間発表会 発表者のポイント・聞き手のポイント

### 説明者の態度と心構え

- ・原稿は暗記し、聴き手のほうをしっかりと見て説明する。
- ・短文にし、難しい言葉は使わない（NHKのアナウンサーが読む原稿は300字／分）。
- ・時間が短いので、ポスターを丸読みせず、ポイントを取捨選択して発表する。

発表において大切なことは、自分の主張をいかに相手に納得させ、理解させるかです。ですから本当に言いたいことを聞き手に強く印象づけることが大切です。たとえば、一番言いたいことは、

- ① 最初に結論を簡単に紹介する。
- ② 本論の部分でより詳しく説明する。
- ③ 最後にもう一度主張をまとめる。

といった具合に3回繰り返すと、よりしっかりと印象づけられるでしょう。

余裕のある人は、以下も是非参考にして欲しいと思います。

### 発表内容の構成のポイント（KISSの原則）

発表内容の構成面で気をつけなければならないことは3点あり、それらは《KISSの原則》と呼ばれます。2点目は、今回は無理としても、探究デーの最終発表ではしっかりと意識してください。この3種類の《KISSの原則》を紹介しながら、プレゼンテーションの構成面のポイントを解説していきましょう。

#### ■ Keep it short and simple. （短くシンプルに）

発表においては、複雑なことも可能な限り短く単純にまとめていくことが必要となります。短くするよう心がけなければならないものは文章の長さ、言葉の長さ、そして説明時間です。

ポスターも、できるだけ言葉を短く刈り込み、シンプルにまとめることも大切です。聞き手に主張を印象づけ、理解させるためのポイントが“Keep it short and simple.”です。

#### ■ Keep it show and summarize. （見せて分からせ、言葉でまとめる）

聞き手に自分の主張を印象づけ、理解させるために、本論部分では写真、イラスト、グラフ、フロー・チャートなどのイメージを駆使して、次のような流れを取ることがポイントです。

- \* イメージ化（写真、イラスト、グラフ、フロー・チャート）による直観的理解
- \* イメージの単純化＝重要な部分を抽出
- \* 単純化したイメージの言語化
- \* 言語化した主張のキーワード化

最初にイメージによっておおまかに理解させ、最後にキーワードを提示して聞き手に強く印象づける。それが“Keep it show and summarize.”ということです。

#### ■ Keep it step by step. （一歩一歩順を追って）

発表においては、個々の話題を積み上げながらそれぞれを聞き手に理解させ、積み上げられた個別の話やポスターの構成から浮かび上がるストーリーの流れを納得させ、最終的に全体のストーリーに同意させることを目標とします。

発表は最終的に、聞き手を自分の主張に導くための階段をつくることです。急な階段は昇りにくく、どこに向かう階段が分からないようでは聞き手も困惑するでしょう。また話に矛盾が起きたり、飛躍があったりすると説得力はゼロとなります。したがって説明やポスターの構成に十分な時間を割き、しっかりと配慮することがとても大切なのです。発表を設計する上でのポイントは、階段をひとつひとつ昇っていくように説明やデータを積み重ね、さらにポスターのパーツとパーツのつながりに注意することです。つまり、“Keep it step by step.”であることが大切なのです。

## 質問者の態度と心構え

- 話し手が気持ちよく発表ができるように体全体を発表者に向け、しっかりと聴く姿勢を作る。  
⇒ 相手の顔や目を見て、表情は柔らかく、頷くなどしながら、話を聞こう。
  - 批判的思考力を持って（わかりやすくいえば、ツッコミを入れるつもりで）、話を聞く。  
⇒ 評価は、単に自分に親しみのある内容か、どうか（要するに、内容が好きか、嫌いか）で評価するのではなく、よく考えられた発表かどうかで評価します。
- ⇒ 批判的な視点による指摘によって見落としていたことに気づかされたり、自分たちだけでは気づかなかったアイデアが得られたりと、発表者にとっても有意義なものとなります。素直に疑問に思ったこと、おかしいなと思ったことをどんどん発表者に投げかけていきましょう。（しかし、本当に大切なことは、こうした視点を自分たちの研究に向けられるようになることなのです。）

## 発表を聴いて質問するときのポイント

聞き手は発表を聴いたあと、評価シートを記入します。1回の発表につき、1枚ずつとなっていて、班の欄には、自分が発表を聴いた班の名前を記入します。発表を聴きながら「チェックポイント」をチェックし、発表後、「疑問点・アドバイス内容等」や「よかった点」を1分程度でまとめながら、質疑応答に備えます。

探究Ⅱ 中間発表会 評価シート

助言者	1回目		班
説明内容のチェックポイント(該当する項目に☑を入れる。)			
研究テーマやリサーチ・クエスチョンについて			
問いの内容があいまい、または抽象的である。		問いが、自分たちで検証可能か疑問である。	
研究仮説について			
他の有力な仮説が成り立つ可能性がある。		因果関係の捉え方に再考の余地がある。	
仮説の検証方法について			
データの集め方で大きな見落としがある。		検証条件の設定に甘さがある。	
疑問点・アドバイス内容等			
よかった点(説明内容・発表態度など)			

今回の中間発表の内容で聴くべきポイントは、以下のとおりです。

- 1 テーマは私的な関心の領域を超えた普遍性のあるものか、検証可能なものかどうか、等。
- 2 リサーチ・クエスチョンが、単に《Xとは何か》を明らかにするだけに終わっていないか。
- 3 仮説(ある事実に関する、原因・一般法則・予測などの仮説について)
  - ・ 仮説の前提となる事実の調査・検証が適切かどうか、そもそも前提は事実なのか、等。
  - ・ 仮説の内容について、誤った一般化を試みていないか、他の有力な仮説を導き出せる可能性はないか、発表で挙げている要因以外に、他の要因が絡んでいる可能性はないのか、等。

上の評価シートのチェックポイントを参考に、ここに挙げたようなポイントで気づいたことをどんどん発表者に質問したり、メモを残したりしていきましょう。

(「200702「探究Ⅱ」課題研究通信\_No10 参照)